神戸大学医学部附属病院

心臓血管外科

指導担当医（役職）

邉見　宗一郎（助教）

実習概要

概要

心臓血管外科の主治医団の一員として実習期間を過ごしていただきます。その間は毎朝の重症回診と夕方のグループ回診に参加し、主治医団のカルテ回診でのディスカッションにも参加していただきます。実習期間内に数例の開心術に手洗いして参加していただきます。

医療面接

主治医団には常に20名前後の患者がいますが、その中から数例の開心術に手洗いして参加していただきます。基本的にその症例を重点的に担当していただき、指導医からの紹介後に自分で訪室して術前術後の問診等を行っていただきます。

身体診察

担当症例は基本的に毎日訪室して聴診をはじめとした身体診察を行っていただきます。

カルテ記載

担当症例に関して指導医の監督のもとカルテ記載のトレーニングも行っていただきます。

症例プレゼンテーション

担当症例に関しては術前プレゼンテーションシートを作成していただき、術前カンファレンスで症例提示を行っていただきます。症例の把握および併存疾患の理解、問診、身体所見の取り方、画像所見、他科コンサルト方法などのトレーニングは術前プレゼンテーションを準備することで、一通り体験もしくは見学することが可能です。余裕があれば術後プレゼンテーションにも挑戦していただき、興味のある人には手術の大まかな流れを理解していただきます。

その他（特色など）

　指導医の監督のもと、一定のトレーニングを積めば実習中に簡単な皮膚縫合等を経験することも可能です。

学生へのメッセージ

　心臓血管外科では重症例も多く、常にICUに患者がいます。心臓の手術自体は特殊な部分もあり、患者の生命予後に直結するため、一朝一夕に身につくものではありません。しかしながら、当科の実習では、術後管理を通し重症患者の全身管理を学ぶことができます。それは循環作動薬の使い方等に留まらず、機械的循環補助デバイスの管理や、呼吸管理、栄養管理、リハビリテーション、患者家族への対応、緊急症例への救急外来での対応など、手術以外にも非常に多岐にわたります。将来どの診療科を選択することになったとしても身に着けておいて、あるいは見学しておいて損はないエッセンスがたくさんあると思います。